

はなさか
じいさん

こんな本も読んでみましょう

選者：埼玉県さいたま市立上小小学校 教諭 新井 千恵子

日本の
昔話

「こぶとりじいさん」

なつみかんほどもある大きなこぶのあるおじいさんがおった！

あるところに、なつみかんほどの大きなこぶが、ほっぺにあるおじいさんが二人おった。ある日、かみなりがなりだし、木のほらあなににげこんだ。すると、ほらあなのそとで赤いかおをしたてんぐたちが、さかもりをしていた。さあ、大きなこぶのあるふたりのおじいさん、どちらもしあわせになれるかな？

日本の
昔話

「びんぼうがみとふくのかみ」

びんぼうがみとふくのかみ、どっちとくらしたい？

ある村に、びんぼうな男がおった。はたらいてもくらしはらくにならない。ぐちひとついわないやさしいよめさまがやってきた。すこしずつくらしがよくなると、てんじょうらのびんぼうがみが「いづらくなってきたのう」といって、げんきがなくなった。そこへやってきたふくのかみ。さあ、どうなるのかな？

日本の
昔話

「こめんぶくあわんぶく」

にほんにもあったシンデレラのおはなし？

すずめとあそぶこめんぶく。あたらしいかあさんがきて、せんたくやそうじはこめんぶくのしごと。ある日くりひろいにいった。いもうとはさきにかえってしまいかえりみちがわからない。山のなかの山んばのいえにとめてもらった。その山んばにもらったたからのこぼこ。さあ、なにがはじまるのかな？

日本の
昔話

「まめっこころころ」

ねずみのあなへはいったじいさまのだいぼうけん！

ひろったまめひとつぶが、ぼろっとねずみのあなにころがった。あなのなかでは、いそがしそうにねずみがはたらいておった。もちつきをてつだうと、きぬのきものももらった。おにからはおかねももらった。それをしたとなりのばあさま。じいさまをむりやりネズミのあなへつっこんだ。さあ、どうなるの？